

2019年11月11日 第299号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

11・11「9の日」宣伝

**おかしいことに声をあげよう！ 行政の私物化許さない！
改憲発議させないぞ！ 安倍政権を退陣に追い込もう！**



憲法共同センターは11月11日昼、定例の「9の日」宣伝を新宿駅西口で行い、8団体19人が参加しました。「安倍首相はひどすぎる。何とかしたい」「すでに署名をしている。がんばって」「気づいた時には戦争になっているという危険がある。安倍首相には辞めてもらわないと」などの声とともに、3000万人署名が40人から寄せられました。

改憲あおるのは憲法違反

はじめに全労連・小田川義和議長が訴え。「憲法を守らなければならない安倍首相が改憲をあおるのは憲法違反。政治の不十分な点や誤りを正す責任がある」と指摘。安倍首相主催の「桜を見る会」について、「1万8000人を招待し、5200万円の税金が使われている。安倍首相の地元、山口の後援会から800人が招待されており、私費でやれば公職選挙法違反だ。税金で有権者対策、行政の私物化は許せない。安倍政治NO!、9条改憲NO!、政治を変えよう」と呼びかけました。

日本共産党・本村伸子衆議院議員は「侵略戦争の反省から憲法ができた。平和憲法を政治に生かすことが大事。国民は改憲を望んでいない。改憲を発議する憲法審査会を動かすべきではない。米軍基地問題など現実問題を議論すべきだ」と指摘。「大学入試への民間英語共通試験導入について高校生が反対の声を上げ、国会に来てくれた。声をあげれば政治を変えることができる。みんながつながり大きな力で、政治を変えよう」と訴えました。

「任命責任は私にある」と言いながら責任をとらない安倍首相

新婦人・油原通江中央常任委員は「9条に自衛隊を書き込むことで、自衛隊の海外での武器行使が可能になる。安倍政権は兵器を爆買いし、日米軍事一体化を強めており、中東に自衛隊を派兵しようとしているが、許されない。軍事優先、自由も人権も制限される、軍事予算も歯止めがなくなり、生活予算が削減されてしまう。NOと言えなくなる社会になる前に、改憲反対の声をあげていこう。署名にご協力を」と訴えました。

全国革新懇代表世話人・杉井静子弁護士は、パートを掛け持ちしている女性の実態を話し、「子どもの貧困率が高く、教育費も高い。健康で文化的な生活とは言えない実態がたくさんある。憲法違反の現実を知ることが大事。憲法を変えずに政治を変えよう」と呼びかけました。憲法24条の両性の平等、男女同権について「戦前の家族制度に戻そうとしている。家族の助け合いを入れ、親の扶養義務を家族に押し付ける。これは社会保障の切り下げにつながる」と指摘しました。

全労連・長尾ゆり副議長は「安倍内閣の2人の大臣が、公職選挙法違反が疑われ辞任した。安倍首相は任命責任が自分にあると言うが、言うだけで責任を取らない。経済格差・地域格差を容認する文科大臣も辞任すべき。モラルハザードの極み、安倍内閣は退陣を」と呼びかけました。

●北海道 道憲法センターが 2019 総会

「隠す」「欺く」「すり替える」…

安倍改憲のくわだてを許さない「草の根」のたたかいを全道で！

北海道憲法共同センターが11月2日、第5回総会を札幌市でひらき、「隠す・欺く・すり替える…安倍改憲のくわだてを許さない、草の根からのたたかいを全道の職場、地域、学園から」とよびかける2019年度の活動方針を決めました。

この日行われた沖縄の辺野古新基地建設を問う県民投票の会代表・元山仁士朗氏の講演会（たかさき9条の会など主催）に続いてひらかれた総会には、平和婦人会、平和委員会、母親連絡会などの道団体とともに「えべつ9条の会」など地域で活動する団体もあわせて14団体が参加。

道憲法共同センター共同代表の渡辺達生弁護士からの安倍改憲をめぐる情勢報告、小室正範新事務局長からの総会議案提起をうけて討議が行われました。

各界からの発言では「10月12日から3日間、若者たちが日高の自然の家で学び、語り合った」「恵庭事件、長沼事件のたたかいの歴史、今に生きる活動を継続させる“コツ”」「“動き出せる”自分たちに」（民青同盟）、「北海道の自衛隊が全国に展開する転地訓練、そして米海兵隊との実働訓練・ノーザンバイパー、北海道の軍事基地化がすすんでいる」「オスプレイ来るな、の全道規模のたたかひが必要」

（平和委員会）、「3000万人署名を上げようと取り組んだ団地訪問。約束の日に行くと、あらかじめの”お手紙”に応え、団地のドアにたくさん署名が。取り組んだ人たちが勇気ももらい、とても元気になっている」（えべつ9条の会）など、たくさんの取り組みが報告されました。

「当面の取り組み」では、11月19日、札幌にやってくる「沖縄の今を聞き、考える」デニー知事・トークキャラバンの成功に向けた取り組み、同じく11月15日に第1回目の弁論を迎える安保法制違憲訴訟控訴審の取り組みなどが意思統一されました。

改憲発議に必要な「3分の2」を割ることになった参院選結果にもかかわらず、「改憲の議論を行えという主張は信任された」と強弁し続け、9条改憲をねらう安倍政権の息の根を断つたたかひが続きます。



★当面の取り組み

総がかり行動実行委員会 3000万人署名宣伝行動

11月14日(木) 18時30分～ 新宿駅西口

総がかり行動実行委員会 19日行動

11月19日(火) 18時30分～ 衆議院第2議員会館前を中心に

国民大運動・憲法共同センター共催 「軍事費削って暮らし・福祉・教育に回せ」院内集会

11月27日(水) 14時～ 参議院議員会館1階 講堂

*** 昼の国会行動で「3000万人署名」を提出します。お手持ちの署名は、11月22日までに、憲法共同センターまで送ってください。**